

殺虫殺菌剤

協友

デジタルコラトップアクタラ® 箱粒剤

チアメトキサム……………2.0%
ピロキロン……………12.0%

種類名/チアメトキサム・ピロキロン粒剤
農林水産省登録/第24003号
毒性/普通物*
有効年限/4年
包装/1kg×12、3kg×6

特 長

- 優れた殺虫成分がイネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネクロカメムシに安定した効果を発揮します。
- ヤゴなどの水生動物に対しても、安全性が確認されており、稲にも環境にもやさしい剤です。
- 長い守備範囲により、箱処理1回で葉いもちから穂いもちまでカバーします。
(ただし、発生状況により穂いもち防除が必要な場合もあります)

適用病害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ いもち病	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り50g 高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り 50～100g	移植前3日 ～移植当日	本剤 1回 チアメトキサム剤 3回 〔移植時までの処理は 1回、本田では2回〕	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する
	イネクロカメムシ ニカメイチュウ	育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り50g 高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 〔30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ〕 1箱当り 50～100g	移植当日	ピロキロン剤 3回 〔移植時までの処理は 1回、本田では2回〕	
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	移植時	本剤 1回 チアメトキサム剤 3回 〔直播での種時又は 移植時までの処理は 1回、本田では2回〕 ピロキロン剤 3回 〔直播での種時又は 移植時までの処理は 1回、本田では2回〕	側条施用

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 移植当日に使用する場合は、育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。移植1～3日前に使用する場合には、散布後通常の管理を移植日まで行ってください。
- 育苗箱の土壌表面が乾燥していて、苗を田植機にのせる際、薬剤落下のおそれがある場合は散布後灌水してください。
- 稲苗の葉がぬれている場合は、葉についている露を払い落とすしてから薬剤を散布し、軽く散水してください。
- 移植時側条施用に使用する場合は、専用の移植同時施肥機を用いてください。
- 移植後、少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、落水、かけ流しはしないでください。なお、漏水の多い水田での使用はさけてください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗等、苗の生育が不調な場合には、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤処理により、時に生育初期の葉に先枯れ等の薬害を生じることがあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を守ってください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- 移植後高温、あるいは低温による生育不良等が予想される場合には、薬害が助長されるおそれがあるので使用をさけてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。また使い残した薬剤も密閉して同様に保管してください。